randMS の操作 マニュアル

作成日: 平成 31 年 3 月 30 日

Developer 前田 晋至

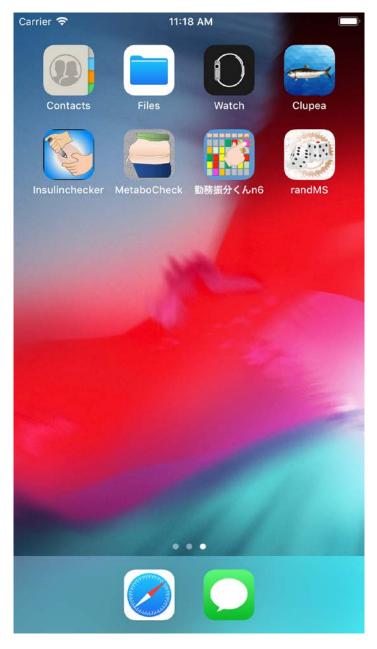
Mail: info@medstat-support.com

Version 1.1.0

基本操作

- 1. randMS を始める前に
- 2. 割振りする登録者の設定を行う
- 3. 適応ランダム化の初期設定
 - あ)割付因子の説明
 - い)割付因子の名前設定
- 4. 適応ランダム化の最小化法を実施する。 結果の見方
- 5. 不要になった場合

1. randMS を始める前に



このアプリについての

ご質問・ご相談などは、

info@medstat-support.com にてご連絡ください。

Apple store にて、インストールしてください。 無料で公開されています。

URL: https://itunes.apple.com/jp/app/randms/id1454778484?mt=8

この画面の写真は、

iphone 6 plus を用いている画像なので、

機種によって、多少の違いがあると思いますが、機能には問題ありません。

2. 割振する登録者の設定を行う



適応ランダム化

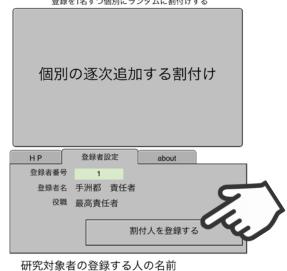
登録を1名ずつ個別にランダムに割付けする



研究対象者の登録する人の名前

手洲都 責任者





手洲都 責任者

ここでは、割付登録人の設定を説明します。 左図の登録者設定のタブをクリックすると、右図の画面に変わります。 「割付人を登録する」のボタンを押します。



初期の画面では、 テストの登録者がいますので、 変更します。

ここでは、

登録番号1を

「風の庵」に修正しました。

ここの施設では、 割付人が一人しかいないので、

チェックボタンを外します。

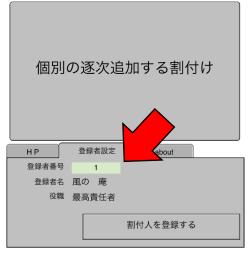
3人以上必要になる場合は、 チェックボタンをつけて、 赤矢印のボタンを押せば 新しい割付人を登録することができます。

メイン画面のボタンを押して、元の画 面に戻ります。



適応ランダム化

登録を1名ずつ個別にランダムに割付けする



研究対象者の登録する人の名前

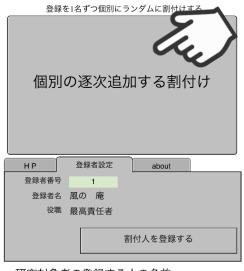
風の庵

登録者名

変更されていることが確認できました。

Carrier 🗢 11:24 AM randMS (ランダエムエス) このソフトのランダム化は、必要に応じて、 因子による層別化を行い、ランダム化を実施します。

適応ランダム化



研究対象者の登録する人の名前

風の



3. 適応ランダム化の初期設定を行う

あ)割付因子の説明

適応ランダム化を行う手順を説明しま す。

真ん中の大きなボタンをクリックして ください。

次に、

基本的な操作を説明します。

画面が変わりました。

- ①初めの割り付け確率は、placebo と active は 1/2 の確率で割付けられること を表しています。
- ②割付けられた後に、placebo と active の得点差がどれぐらい以上の差が広が ると動的確率変動を起動させるかとい う人数を設定する場所になります。初期 設定では得点差は「1点より大きい」場 合に設定しています。
- ③動的割付確率が、実際にどの割合で起 こさせるかを設定する場所になります。 placebo の得点差がある得点以上(ここで は2点以上)になった時には、active に対 する動的割付確率が 4/5(80%)になり、反 対に、active の得点差が多くなった時に は 1/5(20%)の動的割付確率で active に 割付けられます。



い)割付因子の名前設定

割付因子は、

試験ごとに違いますので、試験に合わせ て割付名を設定する必要があります。 青塗りつぶしの部分をクリックします。

一番下にある項目

(写真では edit values)とありますが、 実際は、「値を編集」になります。

「値を編集」をクリックすると 編集画面になります。

「はい」と「いいえ」だけの選択しかできませんので、下記のように定義しました。

例として、3つの名前の因子 「施設 あ」、「喫煙」、「性別」とします。

「施設あ」、

はい:施設 A いいえ:施設 B

「喫煙」

はい: 喫煙者

いいえ: 非喫煙者

「性別」

はい:男性 いいえ:女性



2 つ目の割付因子の青塗りつぶしをクリックします。

すると 先ほど入力した項目が出るので、 2番目に喫煙をクリックします。



同様に、3つ目の割付因子の名前を付けます。

これで、

割付因子の名前を設定することができました。



割付因子の名前を設定すると、 下の割付因子も同時に 名前が変更されます。

症例1の場合

施設Aで、喫煙者で、男性を登録したい 場合は、左図のようになります。

個別ごとの最小化法のスタートボタン を押します。





4. 適応ランダム化の割付因子の設定

結果の見方

1段目

登録番号:自動的に入力されます。

割付因子: スタートボタンを押した時に登録し

た「はい」「いいえ」が入力されます。

2段目

登録時の動的割付確率と割付登録者の名前を表示します。

3段目

iphone の GPS 機能を用いて、登録した地点の位置情報を表示します。

4段目

備考欄です。

5段目

割付の結果、placeboか active が表示されます。

水色塗りつぶしは、入力・修正ができますので、 必要に応じてご利用ください。

機種の性能によって 割振りに 5-10 秒程度 時間がかかることがあります。



次の症例(上図)は、

「施設 B」、「喫煙者」、「女性」になります。

同様に、5名を登録していきます。

	施設 あ	喫煙	性別	割付結果	得点差	動的割付確率
症例 1	はい	はい	はい	placebo	0	0.50
症例2	いいえ	はい	いいえ	active	-1	0.50
症例3	はい	はい	いいえ	placebo	0	0.50
症例4	はい	いいえ	いいえ	placebo	-2	0.80
症例 5	いいえ	いいえ	いいえ	active	-1	0.50
症例6	いいえ	いいえ	いいえ			0.20

割付を上記の条件に設定し、スタートボタンを押した結果の表にまとめてみました。

表示される背景には、1-1000 の間の数字をランダムに発生させ、その値毎に割振を決めていますので、同じ項目でも、割当が同じ結果になるとは限りません。



6 例目の症例を

「いいえ」、「いいえ」、「いいえ」にした場合、 得点差が+2 点になりますので、次の結果が placebo になりやすいように、動的割付確率が 0.20(赤色矢印)になるように変化しています。

4. 不要になった場合



不要になった場合、

通常のアプリを削除するようにしてください。 または、

練習が終わり、はじめの設定に戻りたい場合は、 アプリを削除し、再インストールしてください。

臨床データを用いていないため、実際の臨床データにおけるランダム化の検証はできていません。したがって、本ソフトを用いた各研究者の先生(解析担当者)方が実際のデータでも検証(確認)していただき、ランダム化の程度を評価してください。そして、randMS のことについて、フィードバックしていただくことによって、さらにバージョンアップしたソフトの提供ができ、ランダム化比較を臨む先生方・スタッフの方に還元することができるように今後も尽力したいと考えています。

最後になりますが、

実際の臨床データについて、当社は持ち合わせていませんが、200 例、1000 例、5000 例のシミュレーションの対象者を 1000 回のランダムを実施した場合、1000 回中 20-30 回のランダム化に失敗しています。つまり、2-3%の頻度になります(現在、論文未発表)。

統計解析では、100 回中 5 回未満であれば「まれ」に起こると慣習的に用いられています。本アプリ randMS における 3 つの割付因子でランダム化を行っても、200 例以上でもまれに失敗することがあります。